

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 遺伝学的スクリーニングによる神経機能老化機構の解明
2. 研究代表者： 野間 健太郎（名古屋大学 大学院理学研究科 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、線虫及び線虫の食餌である大腸菌を用いて神経機能老化を引き起こす遺伝子と老化のトリガーとなる代謝物を探索し、神経機能老化の本質的分子メカニズムを追求することを目的としている。フェーズ1では行動老化の抑制に関わる特定の核内受容体を同定し、加齢によって変化する疎水性ホルモンがその活性を制御している可能性を見いだした。研究成果が確実に論文発表されていることも評価する。フェーズ2は老化のマスターレギュレーターとなる遺伝子の発見を目指し、リガンドスクリーニングを進める。また細菌成分のスクリーニングから老化のトリガーとなる代謝物を見いだす。挑戦的な計画を着実に実行し、遺伝学的な老化の経路の理解につながる成果を期待する。

以上